

2年連続「朝雲賞」受賞



28年29年「朝雲賞」を手にする山野地本長と地本マスコット「はまにゃん」(左)「たま」担当者(右端)



山野地本長と地本マスコット「はまにゃん」(左)と「たま」(右)

自衛隊神奈川地方協力本部(本部長 山野 太資 1等海佐)は、2月1日全国の自衛隊各部隊・機関などから寄せられた優れた投稿を表彰する朝雲賞を受賞した。朝雲賞は、朝雲新聞社社長など15人で構成される選考委員会が選出し、神奈川地本は「朝雲」への投稿で最も多く紙面を飾った部隊が表彰される「優秀掲載賞」を昨年に続き2年連続で受賞した。

神奈川地本は、箱根駅伝での募集広報やマスコット「はまにゃん」の広報など神奈川地本ならではの話題や入隊者やその家族に寄り添った内容の記事を投稿。紙面を大きく飾ったのは数回だったが、小さく紙面を飾り続け、昨年1月～12月の間に173件投稿し、16件が掲載された。(1昨年:投稿217件・掲載13件)

今年は既に5件(3月現在)掲載されており、担当者は「昨年は、新たに広報官の恒常業務にも注目した。更に話題の幅を広げ、3年連続受賞を目指す」と意気込みを話した。

神奈川地本は「今後も積極的に投稿し、広報活動にまい進していきたい」としている。

神奈川県自衛隊遺族会「山ゆり会」が房総半島を研修(県の遺族会運営を支援)

自衛隊神奈川地方協力本部(本部長 山野 太資 1等海佐)は、3月6日(火)、神奈川県遺族会「山ゆり会」が計画する房総半島研修を支援し、会員及び隊員相互の親睦と連携を図った。

当日は、10名のご遺族が参加し、久しぶりの顔合わせで移動時の車内は賑やかとなり、車窓から見える東京湾の干潟などの景色にも癒されての研修となった。

午前中は「清水溪流広場」を研修し、春を告げる花を愛でながら、「亀岩の洞窟」等、園内を散策した。

また、当地の観光名所では広いフードコートにて研修者は思い思いの昼食をとり、お土産を買うなどして和気あいあいと過ごされていた。

復路の休憩地点であるアクアライン海ほたるにて、全員で記念写真撮影したところ研修者皆様がとても満足した様子であった。

「久しぶりに山ゆり会の皆さんにお会いできて嬉しかった」「今回の研修では大変楽しく過ごせた」等の感想が聞かれ、遺族支援業務の必要性和重要性を実感するとともに、地方協力本部は遺族にとって身近な存在でなければならぬことを再認識した一日であった。



当地の観光名所にて食事とお土産を購入



朝陽があたればハート型の日光が出現する「亀岩の洞窟」



「亀岩の洞窟」の看板を撮影する研修者



アクアライン海ほたるにて記念撮影